

# たんぽぽ通信

Vol. 29 2011年12月10日発行 たんぽぽ薬局 五本木店

## 子供用の薬



小児用量という言葉を目にした事があると思いますが、「小児」とは何歳までを指しているのか、ご存知ですか？

医薬品に関して、「小児」というのは15歳未満を指します。一般的な年齢区分とは異なります。6歳未満を「幼児」、1歳未満を「乳幼児」と呼びます。

処方薬は、決められた量を決められた回数飲んで初めて効果が期待できます。半分飲んだら半分効くというわけではなく、有効血中濃度（血液中の薬の効果を期待できる濃度）に達しない場合は、全く効かない場合もあります。

また、症状がよく似ているからといって兄弟や他人の薬を勝手に飲ませてはいけません。自己判断で服用させることのないよう注意しましょう。



### 子供に上手に薬を飲ませる方法

●散剤（粉薬）は少量の水かぬるま湯でペースト状に練ります。これをきれいな指先に乗せ、ほほの内側か上あごの奥へ塗り付けます。その後、すぐに水やぬるま湯を飲ませます。

●水剤（シロップ）はスプーンやスポイトであげたり、哺乳瓶の乳首に入れて飲ませることもできます。

●苦みが強い場合には、砂糖やコンデンスミルク、ココアなどを加えると飲みやすくなります。

※ ミルクと薬を混ぜると、ミルクの味が変わり、ミルク嫌いの原因になるため、ミルクと混ぜるのは避けましょう。



薬局からのお話 第29話



## 咳止め

咳は異物の体内への侵入を防ぐ防御システムです。くしゃみや鼻水、涙も人間が身体を正常な状態に保とうとする働きの一つです。

しかし、咳は長く続くと体力を消耗し、のどの炎症なども引き起こしかねません。咳が出やすくなるのは喉が乾燥している状態なので、のどをできるだけ乾燥させないように飴をなめたり、水などをこまめに飲む事も咳止めの方法です。また、喉を温める事や部屋の気温を20度に設定する事も効果があると言われています。

咳止め薬にはいろいろな種類があり、当店でも取り扱っておりますので、お気軽に薬剤師に御相談下さい。

### 咳は寝るときに多くなるのはなぜ？

起きている時と寝ている時では体の状態が変わり、体が温まり気道の分泌液が多くなり、痰の量が増え咳を誘発すると考えられます。

小児の場合には、体を起して背中をさすったり、状態を少し高くして休ませると呼吸が楽になり、咳止めに効果的です。また、上向きに寝るより横向きに寝る方が良いでしょう。咳には様々な症状があり、原因に合わせて治療を行う事が必要です。咳が気になる時には、早めに医療機関を受診しましょう。



### たんぽぽ通信からのお知らせ

ご質問、ご意見などございましたらお近くのエムトゥエムの調剤薬局にご相談ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

